

# 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	中央図書館		■担当係	資料係
■評価事業名称	近世・近代文書調査員設置			
■評価事業コード	402100 - 047	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり		
	■基本施策	02 社会教育の充実		
	■施策	03 社会教育機能の充実		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務			
■法令等の名称	図書館法第三条 北上市立図書館規則第11条			
■関連計画の名称				
■事業の概要	近世・近代文書の資料収集整理・解読を行うことにより、資料に基づく郷土の学習や、さらに郷土を理解することにより市民のサービスの向上の実感が得られる。近世・近代文書収集整理、古文書解読、参考調査。			

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成24年度事業計画	平成24年度事業量実績
01	近世・近代文書調査員設置	近世・近代文書調査員		<ul style="list-style-type: none"> <li>・古文書解読、表題つけ 350件</li> <li>・資料調査・収集 11件</li> <li>・出前講座等 6回</li> <li>・参考調査等 17件</li> </ul>

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	2,205	1,999	1,391	1,407	
人件費	329	1,046	989	1,187	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,534	3,045	2,380	2,594	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明
01	文献収集・解読	600件	372件	380件	350件	解読数
03	総近世・近代文書数	11,896件	12,268件	12,648件	12,98件	解読総数
04	解読1件当たりコスト	4,223円	8,185円	6,263円	7,411円	フルコスト÷解読数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

寄贈資料の解読を進めているが、汚破損や劣化が著しい資料には時間がかかっている。

問題点・課題等

古文書及び古書を解読できる人材・土地の歴史について詳しい知識を持つ人材に限られている。そのため個人や団体、文化財課からの調査委依頼も多く時間をとられている。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明